

1 目的

ひきこもり者を支援する機関（以下、「支援機関」という。）は市町村主体による取組等により増加してきているにも関わらず、教育や福祉など他分野で事業展開されているため支援機関の機能や役割の把握が難しく、支援機関間の連携による効果的な支援を展開できていない側面がある。引きこもり者がその個別性に合わせた支援を受けることにより地域でその人らしい生活ができるようになるために、官民の枠を超えた支援機関による取組や課題を共有し、ネットワークの展開を推進する。

2 令和6年度取組

*ひきこもり支援の中核機関：モデル市内でひきこもりの相談や支援、取組を推進している機関等

武蔵野市での展開

▶ 実態調査等

ひきこもり支援の中核機関*と協同で、モデル市内でひきこもり支援を行っているを対象にアンケート、ヒアリング、好事例・困難事例収集を行い、各支援機関の取組、支援対象者の現状、課題を把握

▶ ワーキンググループ 2回

ひきこもり支援の中核機関が参加し、実態調査等の検討、調査結果と課題の共有、ネットワーク会議の企画を実施

▶ ネットワーク会議 3回

ひきこもり支援機関が参加し、調査結果の共有、支援につながり難い対象者像の抽出、地域課題の抽出、支援やネットワークのあり方、情報発信の検討等を実施

課題の把握

▶ 支援機関同士の相互理解・情報共有の在り方の検討が必要

▶ 当事者の多様なニーズに合わせた支援機関（社会資源）が必要

3 令和7年度取組予定

小金井市での展開

▶ 所内検討会 2回

ネットワーク構築に向けた取組の検討

▶ 市主催会議（ネットワーク会議） 1回

会議へ参加、調査結果や課題の共有等

▶ ワーキンググループ 5回

武蔵野市の取組を参考に、ひきこもり支援の中核機関等とネットワーク構築に向けた取組を検討、実態調査（アンケート、ヒアリング）への協力、ネットワーク会議の企画・検討

圏域での展開

▶ 冊子の作成及び保健所ホームページのリニューアル

・ひきこもり者が適切な支援に繋がり、個別性に合わせた支援が継続できる連携ポイント等をまとめた冊子を作成

①他機関連携のポイント ②ネットワーク構築のためのツール

・多摩府中保健所HP「ひきこもり支援」のリニューアル

▶ 地域精神保健ネットワーク会議 1回

取組成果のまとめを圏域で周知・共有

ひきこもり支援の現状と課題を圏域全体で共有・意見交換